

2 現在公開しているデジタルアーカイブについて

ここからは、現在公開しているデジタルアーカイブについてまとめる。なお、1館で複数のデジタルアーカイブを公開している場合があるため、館ごとではなくデジタルアーカイブごとに集計をおこない、まとめている。

(1) 導入時期

導入時期については、都道府県立図書館では「2014年以前」が27件(47.4%)で最も多く、次いで「2015～2019年」が11件(19.3%)となっている。市区町村立図書館では「2015～2019年」が78件(31.3%)で最も多く、次いで「2014年以前」が59件(23.7%)となっている。(図5.3)

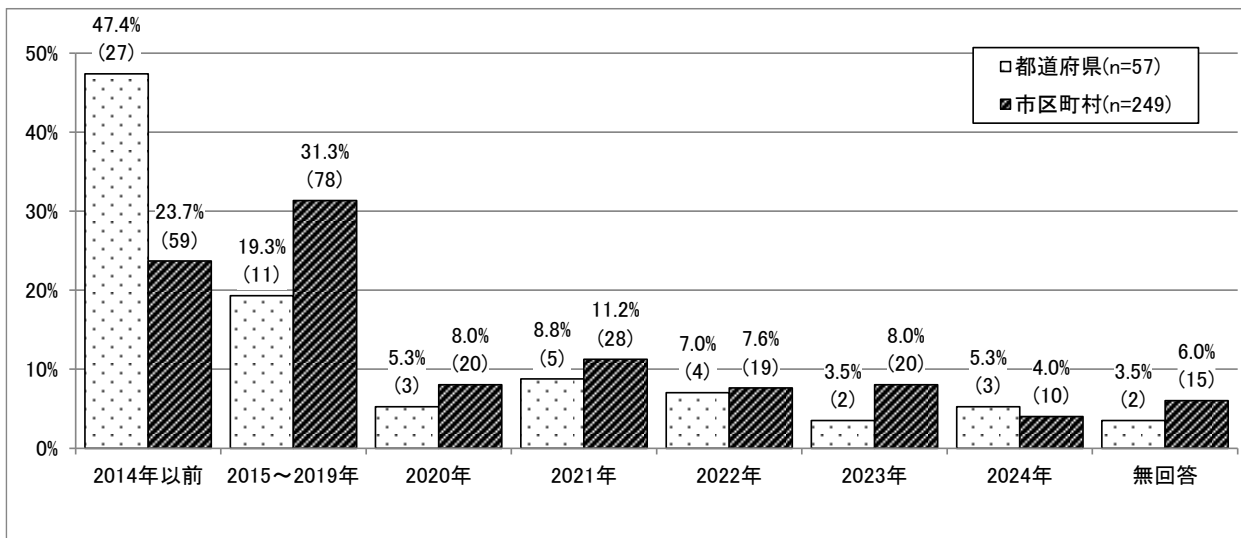


図 5.3 導入時期

(1) 設置形態

設置形態については、都道府県立図書館、市区町村立図書館ともに「デジタルアーカイブ独自」が最も多く、それぞれ35件(61.4%)、170件(68.3%)となっている。都道府県立図書館ではこれに「図書館システムと一体」が18件(31.6%)で続くが、市区町村立図書館では「その他」が46件(18.5%)で2番目に多くなっている。(図5.4)

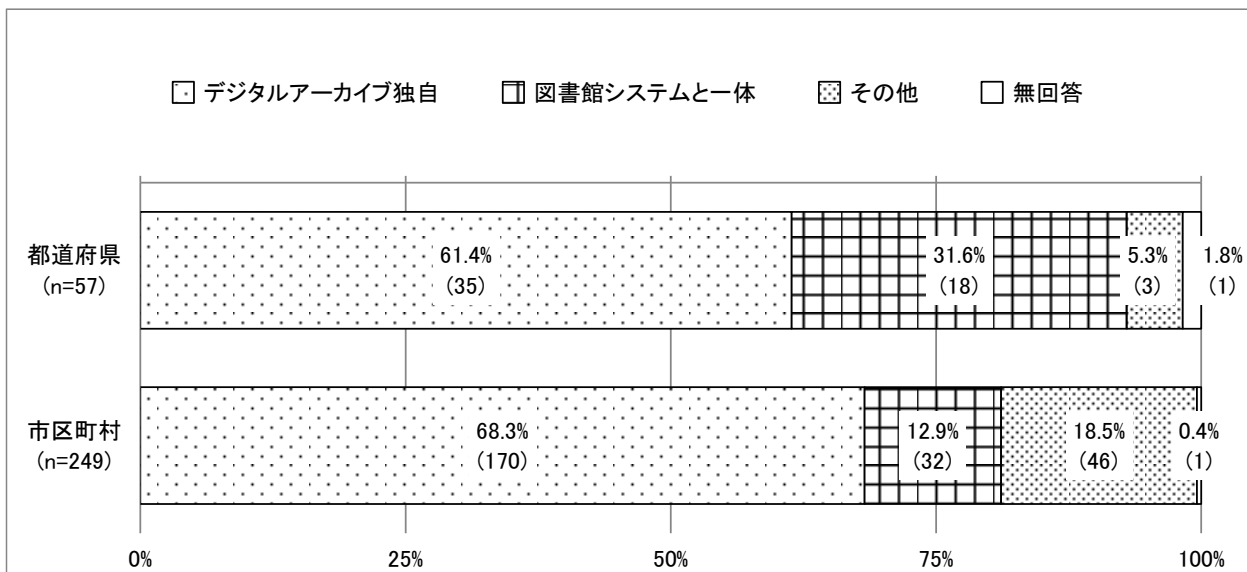


図 5.4 設置形態

（2）デジタルアーカイブのシステム

デジタルアーカイブのシステムについては、都道府県立図書館、市区町村立図書館ともに「パッケージ（ADEAC等を利用した）」が4割を超え、それぞれ26件（45.6%）、124件（49.8%）となっており、これに「独自に開発した」がそれぞれ19件（33.3%）、70件（28.1%）と続いている。（図5.5）

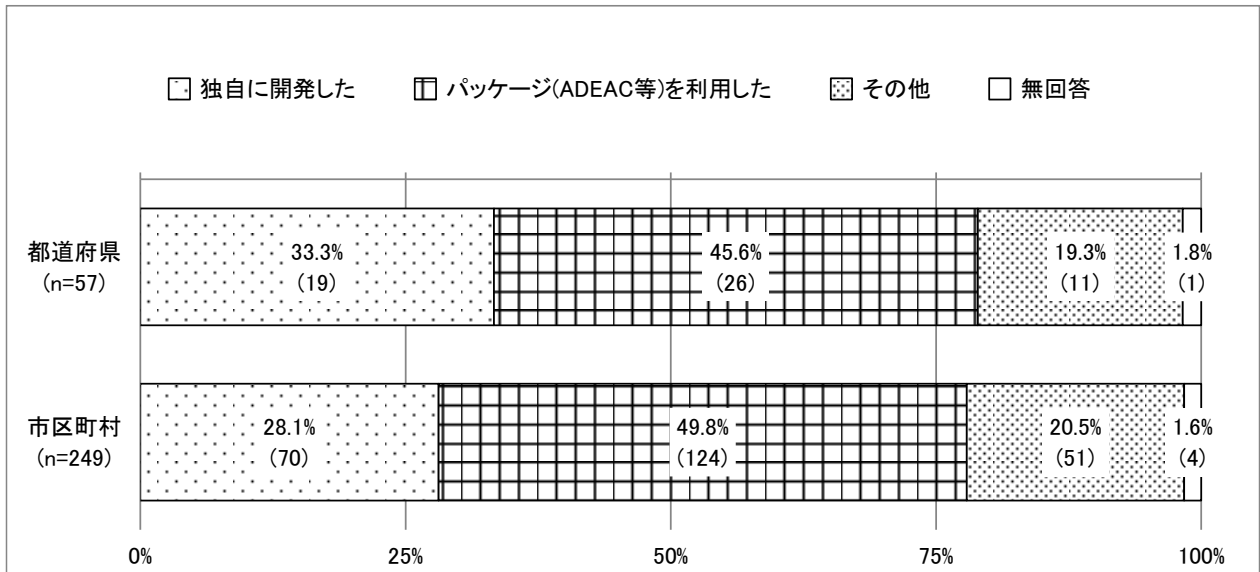


図 5.5 デジタルアーカイブのシステム

（3）公開状況

公開状況については、都道府県立図書館、市区町村立図書館ともに「Web上で公開」が最も多く、それぞれ54件（94.7%）、213件（85.5%）となっている。（図5.6）

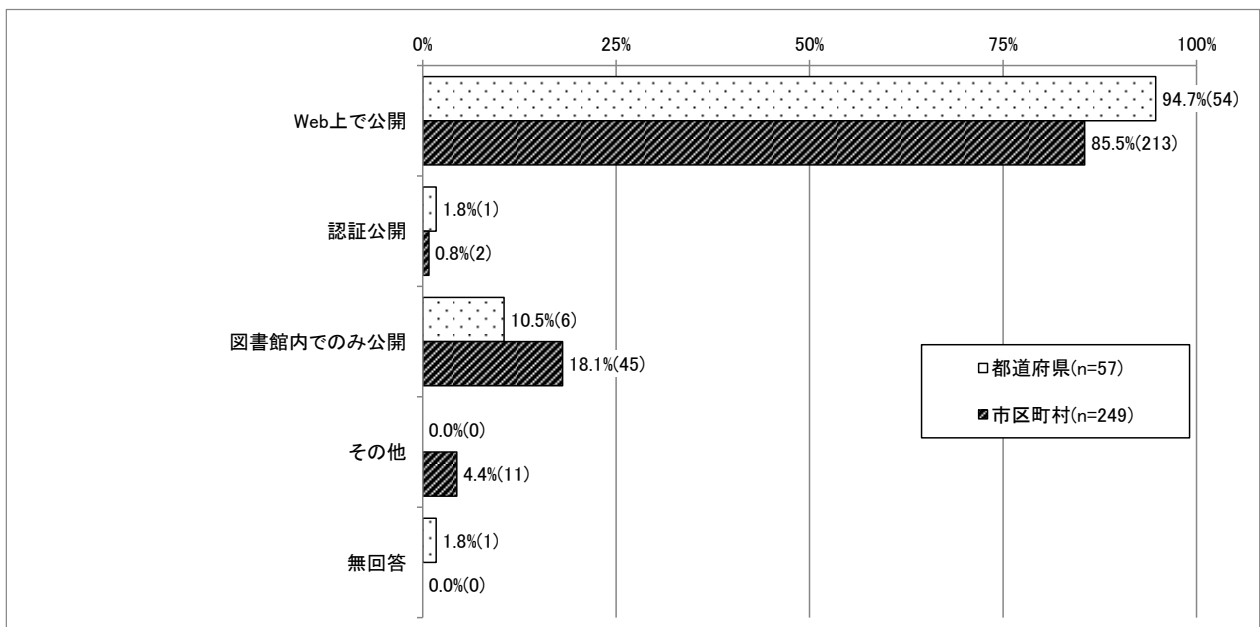


図 5.6 公開状況

（４）データ件数

データ件数については、都道府県立図書館では「1,000件以上」が27件（47.4%）で最も多く、「100～500件未満」13件（22.8%）となっている。

一方、市区町村立図書館では「10～100件未満」が65件（26.1%）で多く、「1,000件以上」は52件（20.9%）となっており、都道府県立図書館と比べると件数が少ない。（図5.7）

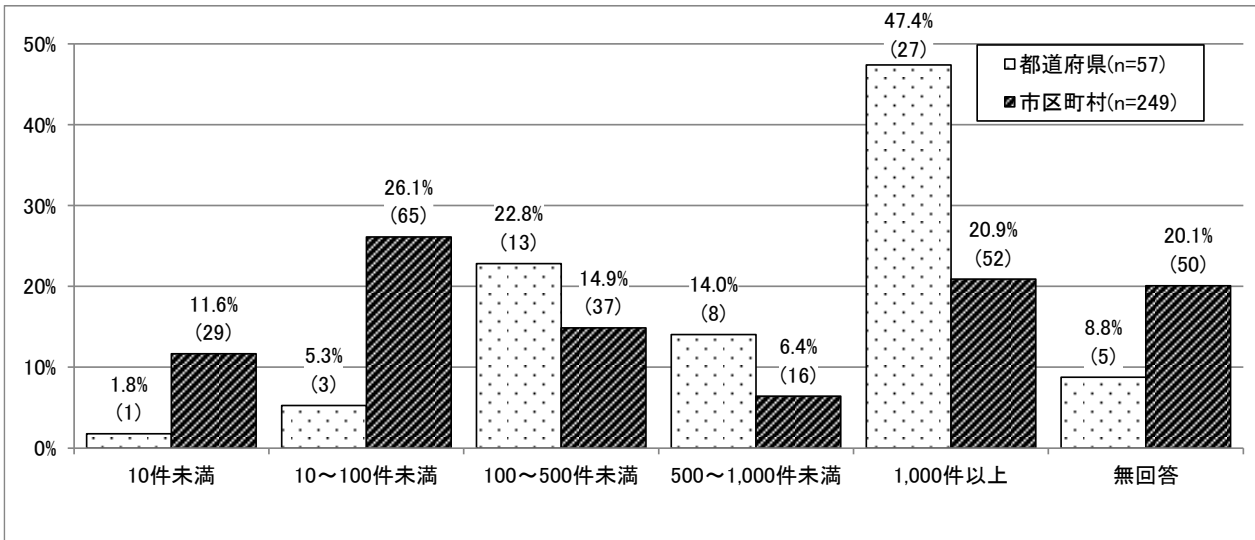


図 5.7 データ件数

（５）ファイル形式

ファイル形式については、都道府県立図書館、市区町村立図書館ともに「JPG」が最も多く、それぞれ42件（73.7%）、147件（59.0%）となっている。都道府県立図書館、市区町村立図書館ともに「PDF」が4割を超えて2番目に多く、それぞれ27件（47.4%）、114件（45.8%）となっている。（図5.8）

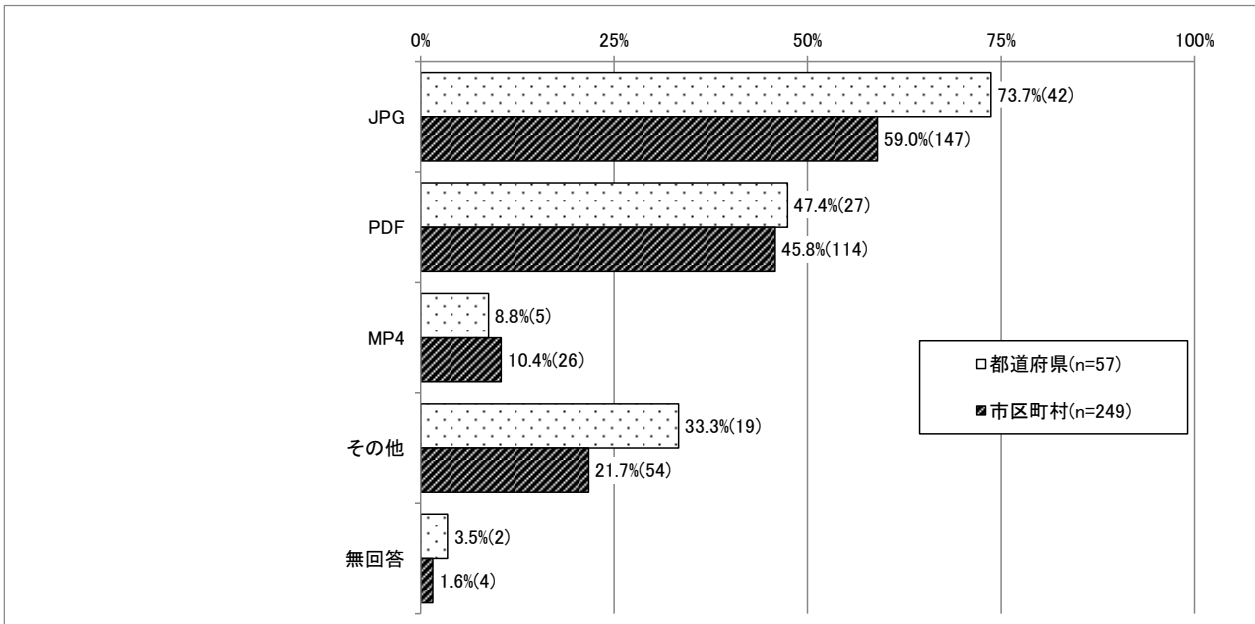


図 5.8 ファイル形式

（6）更新頻度

更新頻度について、都道府県立図書館では「年に1回程度」が22件（38.6%）で多く、次いで「年に数回程度」が16件（28.1%）となっている。

一方、市区町村立図書館では「公開後の更新なし」が113件（45.4%）で多く、「年に1回程度」が74件（29.7%）、「年に数回程度」が37件（14.9%）となっている。（図5.9）

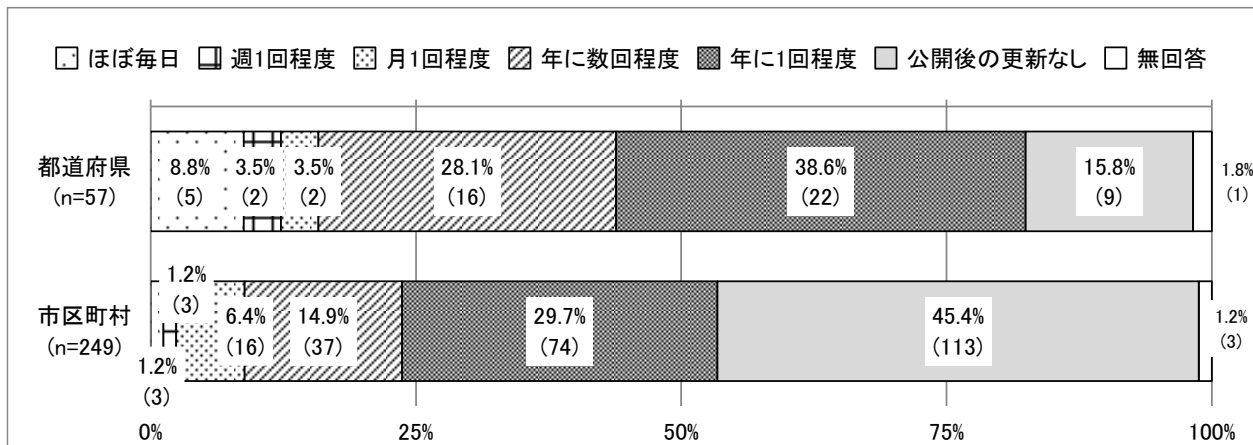


図 5.9 更新頻度

（7）公開しているコンテンツ

公開しているコンテンツについて、都道府県立図書館では「地図」と「古文書・和漢本」がいずれも40件（70.2%）と多く、次いで「写真・絵ハガキ」が31件（54.4%）、「浮世絵・絵画」が26件（45.6%）となっている。

一方、市区町村立図書館では「写真・絵ハガキ」が118件（47.4%）で最も多く、次いで「地図」が97件（39.0%）、「古文書・和漢本」が88件（35.3%）となっている。（図 5.10）

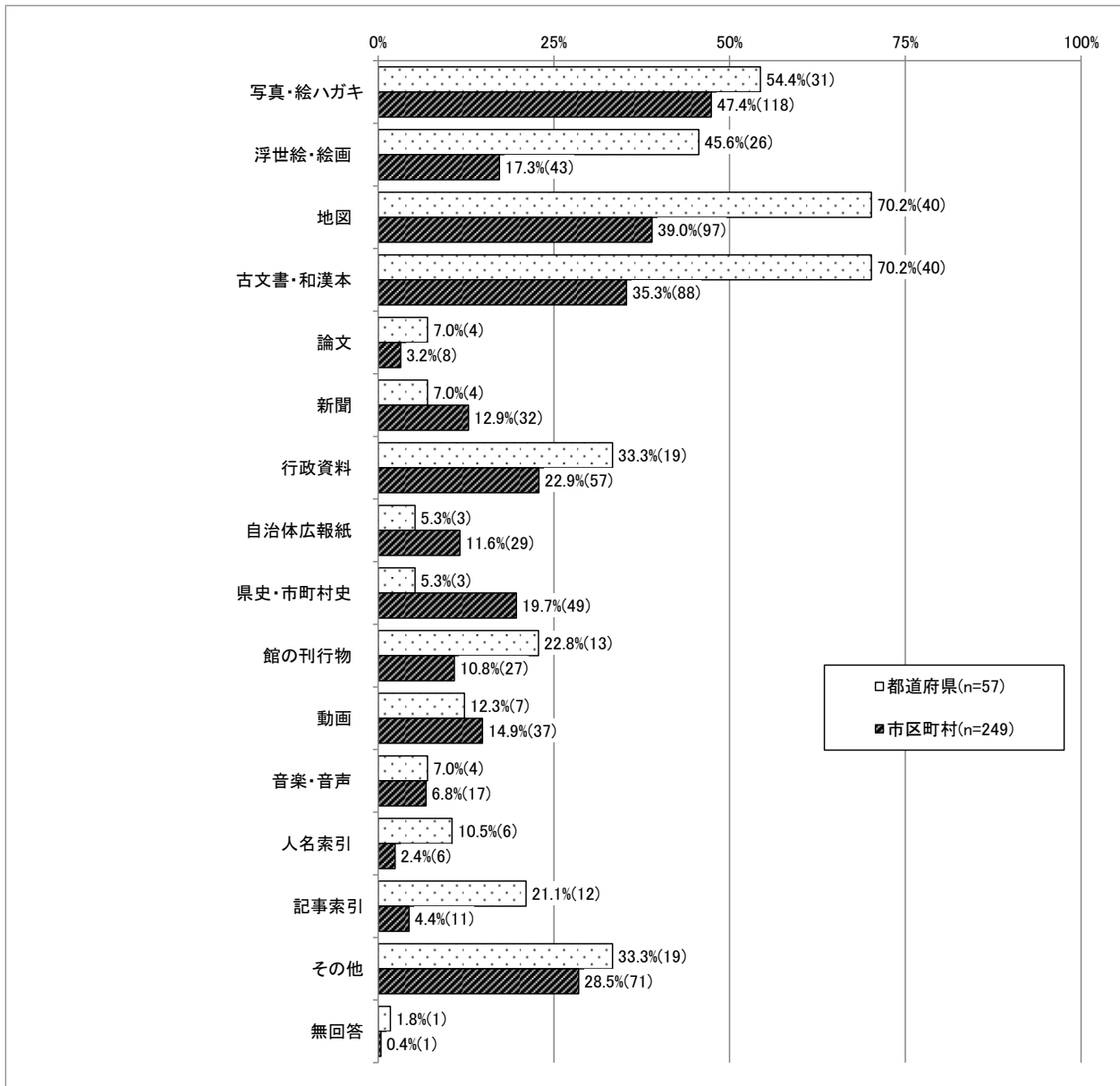


図 5.10 公開しているコンテンツ

（8）利用規約明示の有無

利用規約明示については、都道府県立図書館では「あり」が42件（73.7%）で多くなっている。市区町村立図書館でも「あり」が129件（51.8%）で「なし」の118件（47.4%）を上回る。（図5.11）

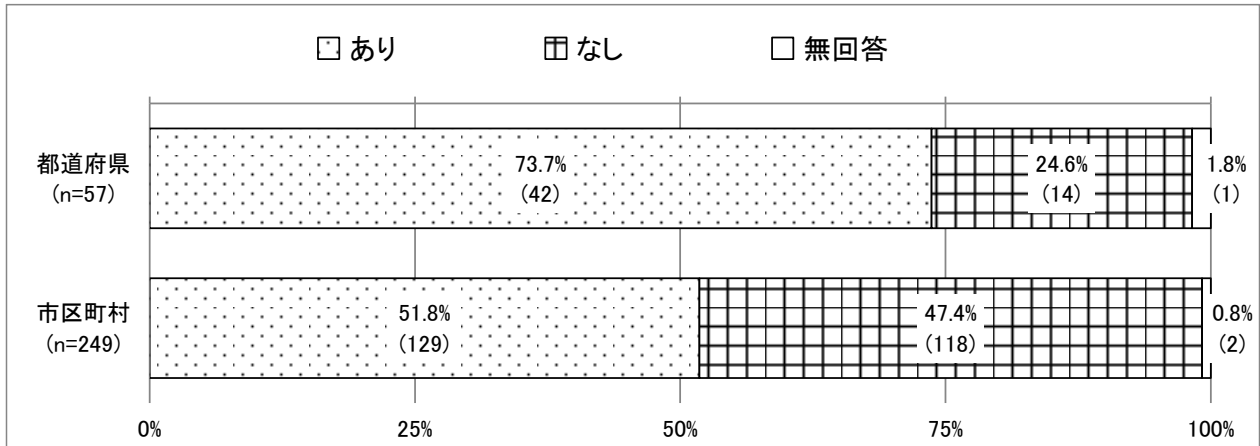


図 5.11 利用規約明示の有無

（10）固定リンクの有無

固定リンクについては、都道府県立図書館では「あり」が42件（73.7%）で多くなっている。市区町村立図書館でも「あり」が142件（57.0%）で「なし」の100件（40.2%）を上回る。（図5.12）

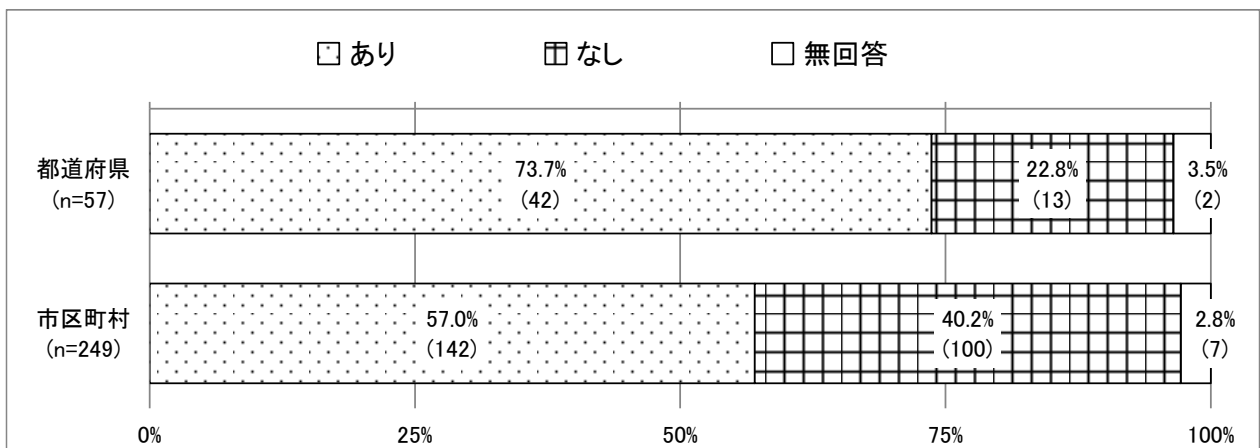


図 5.12 固定リンクの有無

(11) サムネイルの有無

サムネイルの有無については、都道府県立図書館、市区町村立図書館ともに「全てあり」が5割以上となっており、それぞれ29件（50.9%）、135件（54.2%）となっている。都道府県立図書館ではこれに「一部あり」が17件（29.8%）で続くが、市区町村立図書館では「なし」が65件（26.1%）で2番目に多くなっている。（図 5.13）

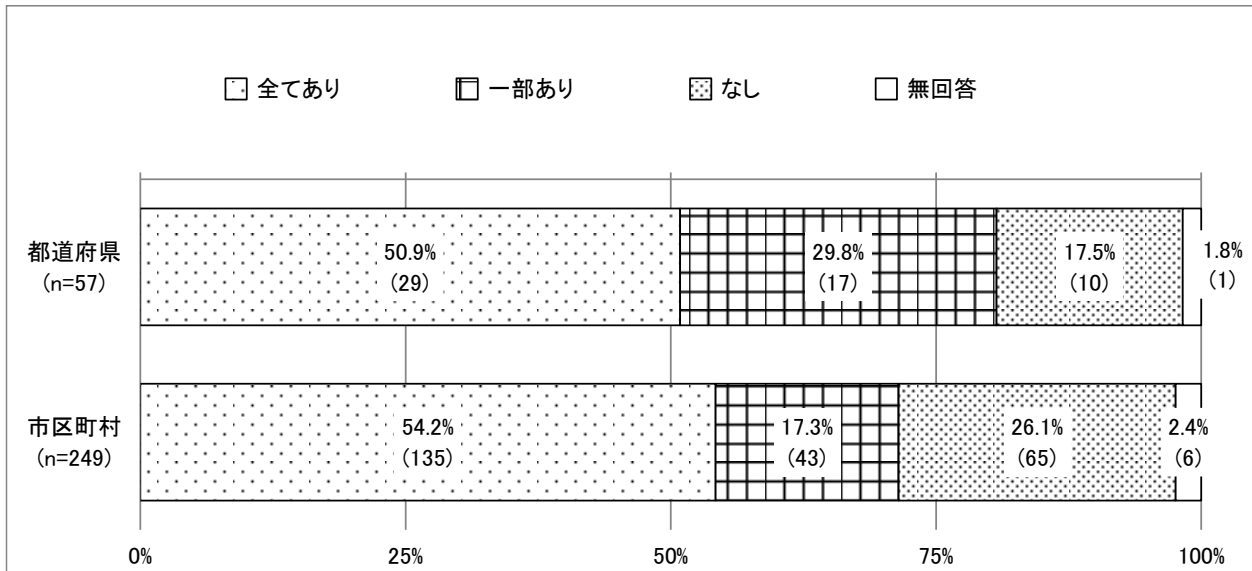


図 5.13 サムネイルの有無

(12) テキスト化の有無

テキスト化については、都道府県立図書館、市区町村立図書館ともに「なし」が最も多くなっているが、それぞれ42件（73.7%）、145件（58.2%）となっており、都道府県立図書館の方が「なし」の割合が高い。「一部あり」は都道府県立図書館、市区町村立図書館ともに2割を超え、それぞれ12件（21.1%）、61件（24.5%）となっている。「全てあり」との回答は都道府県立図書館では1件（1.8%）のみとなっているが、市区町村立図書館では37件（14.9%）となっている。（図 5.14）

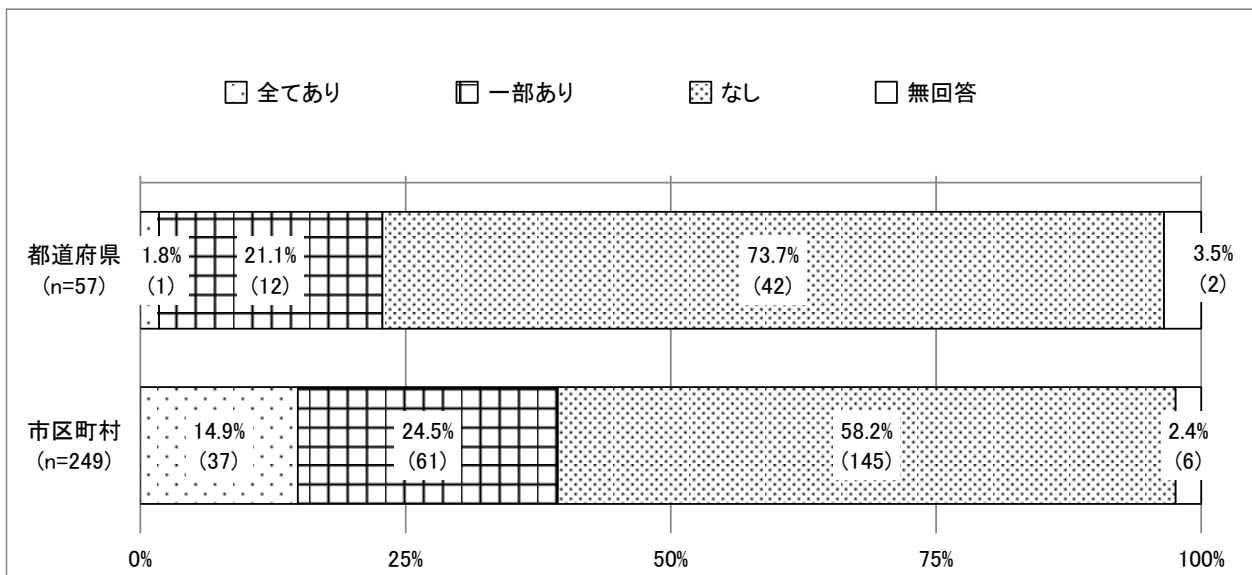


図 5.14 テキスト化の有無

(13) DOI の付与

DOI の付与については、都道府県立図書館、市区町村立図書館ともに「予定なし」が最も多くなっているが、それぞれ45件（78.9%）、224件（90.0%）となっており、市区町村立図書館の方が「予定なし」の割合が高い。都道府県立図書館では「検討中」が8件（14.0%）となっている。（図 5.15）

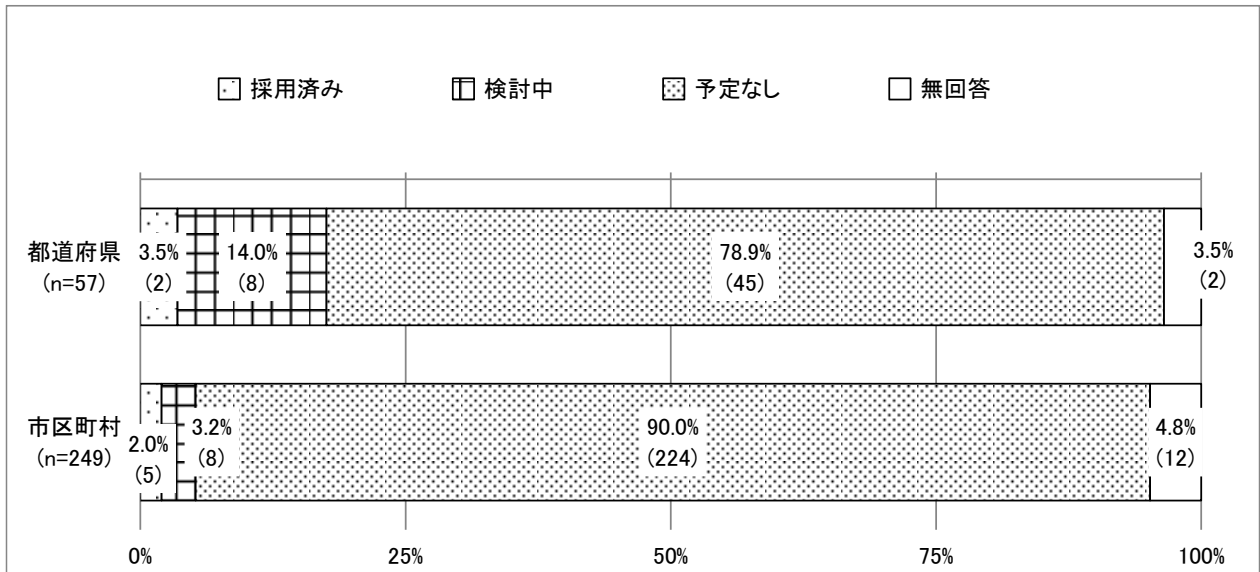


図 5.15 DOI の付与

(14) IIIF 対応

IIIF 対応について、都道府県立図書館、市区町村立図書館ともに「予定なし」が最も多くなっているが、それぞれ31件（54.4%）、205件（82.3%）となっており、市区町村立図書館の方が「予定なし」の割合が高い。都道府県立図書館では「採用済み」が16件（28.1%）、「検討中」が7件（12.3%）となっている。（図 5.16）

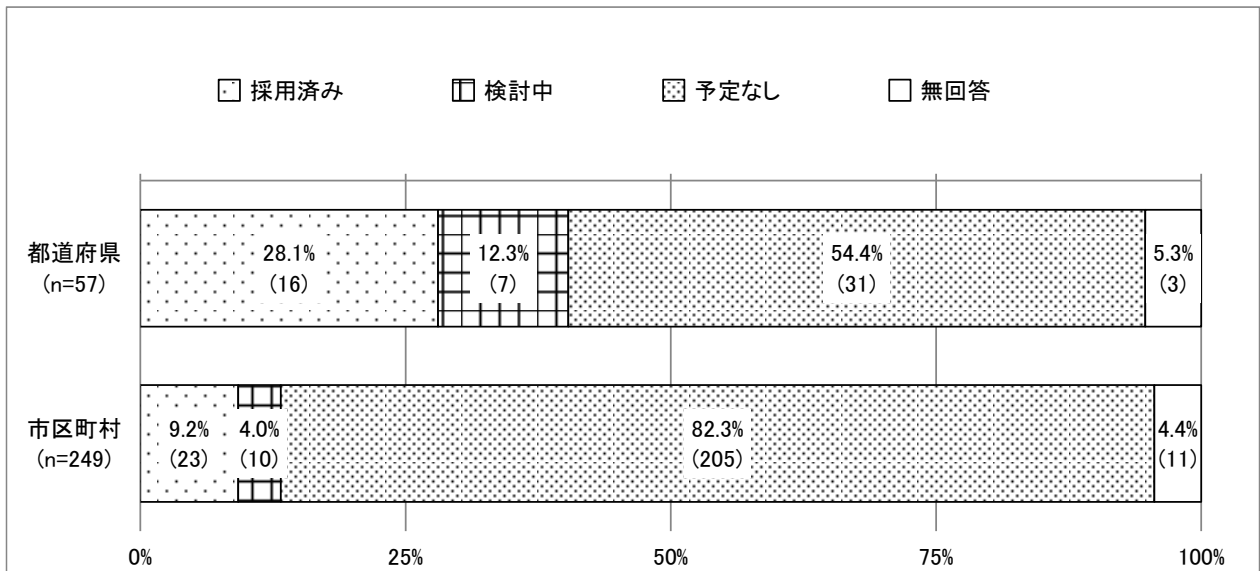


図 5.16 IIIF 対応

(15) 活用しているライセンス

活用しているライセンスについて、都道府県立図書館、市区町村立図書館ともに「ライセンスを活用していない」が最も多くなっているが、それぞれ33件（57.9%）、199件（79.9%）となっており、市区町村立図書館の方が「ライセンスを活用していない」の割合が高い。「CCライセンス」を活用しているのは都道府県立図書館では21件（36.8%）、市区町村立図書館では37件（14.9%）となっている。（図 5.17）

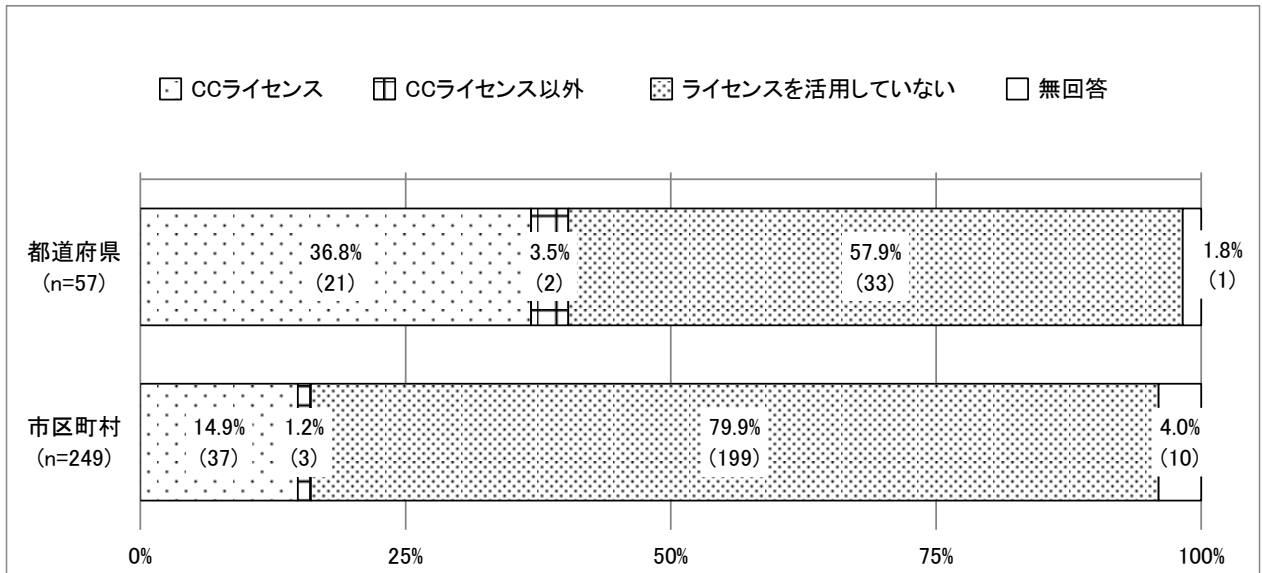


図 5.17 活用しているライセンス

(16) メタデータについて

ア メタデータの有無

メタデータについては、都道府県立図書館では「あり」が51件（89.5%）と約9割を占める。市区町村立図書館でも「あり」が130件（52.2%）で最も多くなっているが、都道府県立図書館と比べると割合は低く、「なし」も107件（43.0%）と4割以上存在している。（図 5.18）

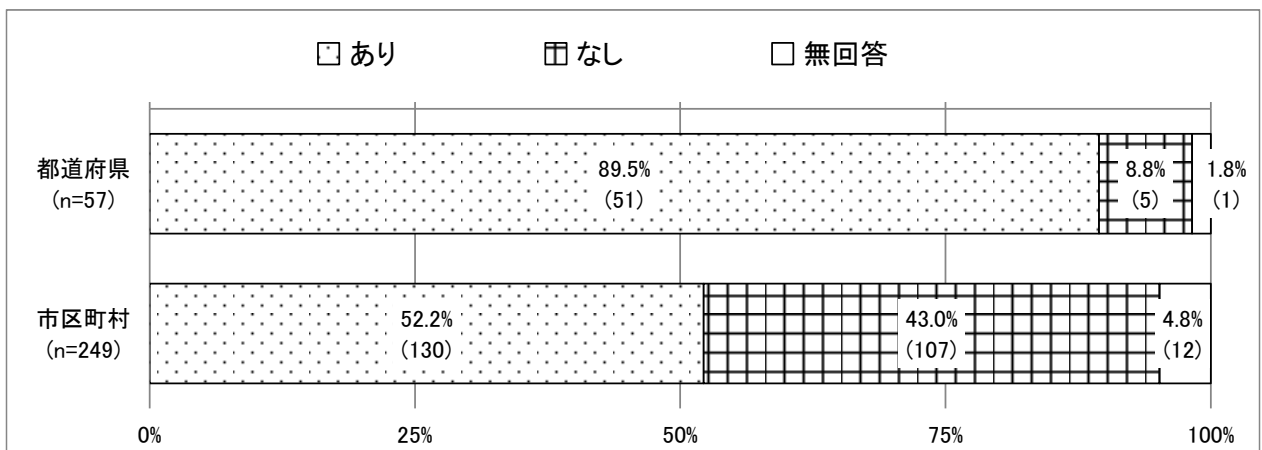


図 5.18 メタデータの有無

イ メタデータのウェブ公開の有無

メタデータのウェブ公開について、都道府県立図書館では「あり」が46件（80.7%）で多く、「なし」は10件（17.5%）となっている。

市区町村立図書館では「なし」が117件（47.0%）で多く、「あり」が115件（46.2%）となっており、メタデータのウェブ公開がされていないものの割合がわずかに高い。（図 5.19）

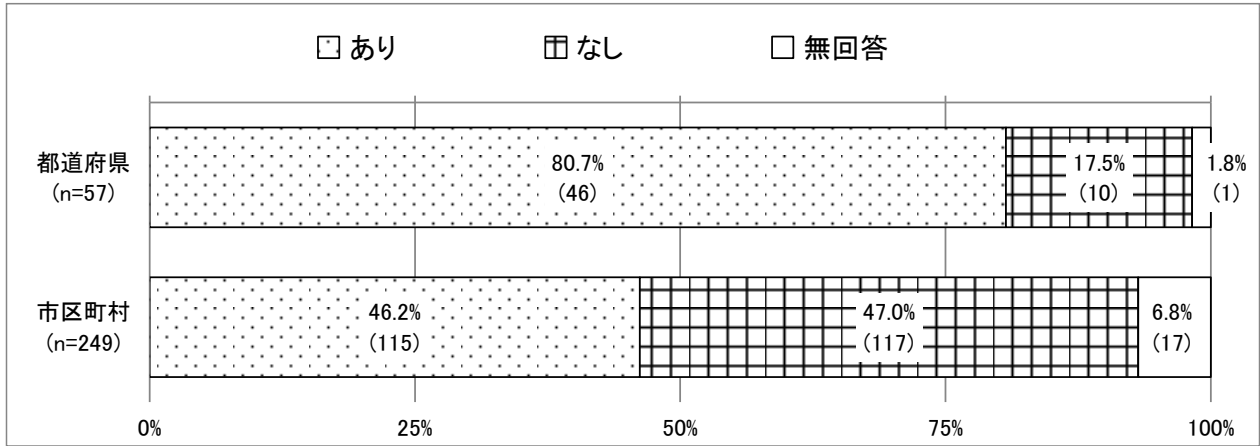


図 5.19 メタデータのウェブ公開の有無

ウ メタデータのダウンロードの可否

メタデータのダウンロードについては、都道府県立図書館、市区町村立図書館ともに「否」が7割を超え、それぞれ45件（78.9%）、193件（77.5%）となっている。（図 5.20）

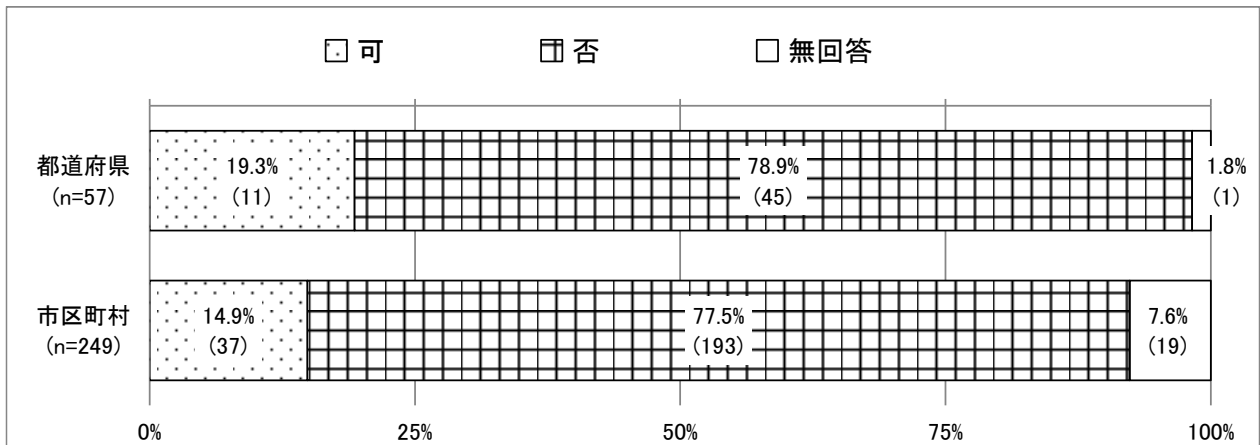


図 5.20 メタデータのダウンロードの可否

エ 基本的なメタデータの他に、デジタル資料管理のために追加している項目

基本的なメタデータの他に、デジタル資料管理のために追加している項目として回答された内容を見ると、「ファイル形式」、「大きさ」、「資料種別」、「所蔵機関・所蔵元・出典（所有）」などがみられる。

オ メタデータのバックアップ方法

メタデータのバックアップ方法について、都道府県立図書館では「自館内のサーバー」が27件（47.4%）で最も多く、次いで「自館外のサーバー」16件（28.1%）となっている。

一方、市区町村立図書館では「自館内のサーバー」と「バックアップしていない」がいずれも59件（23.7%）と多く、次いで「自館外のサーバー」が53件（21.3%）、となっている。（図5.21）

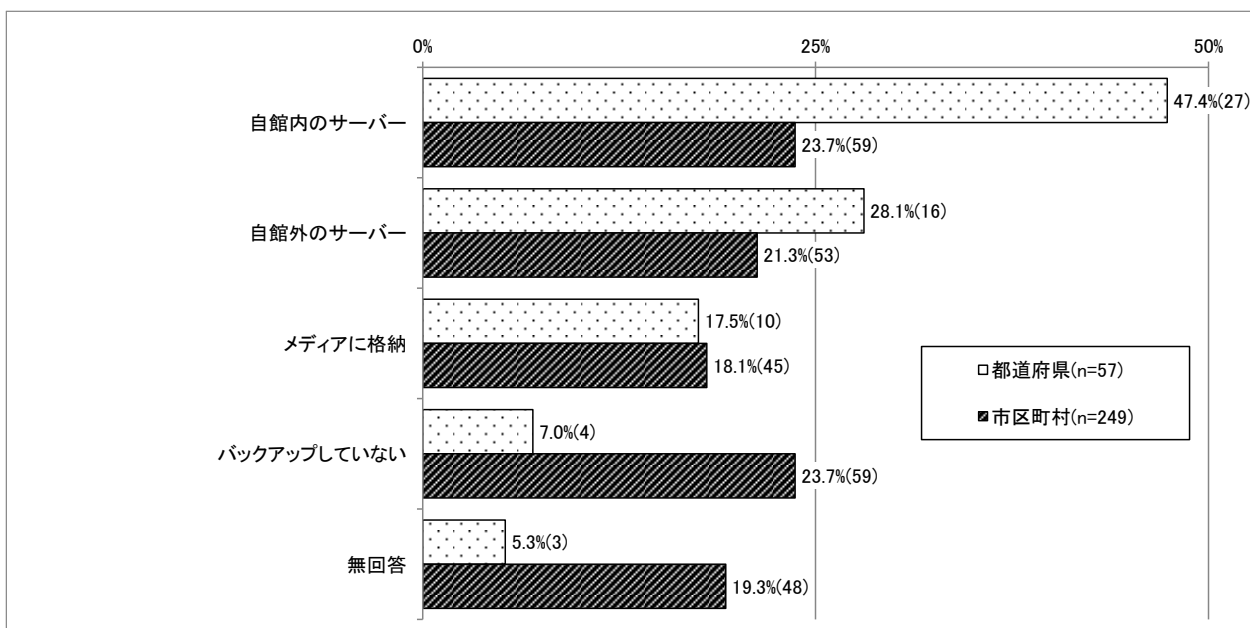


図 5.21 メタデータのバックアップ方法

(17) 構築時の予算について

ア 構築時の予算(自館の人件費は含まない)

構築時の予算について、無回答を除くと都道府県立図書館では「1,000万円以上」が7件(12.3%)で最も多く、次いで「100万円以上500万円未満」が4件(7.0%)となっている。

一方、市区町村立図書館では「100万円以上500万円未満」と「1,000万円以上」がいずれも27件(10.8%)となっている。(図5.22)

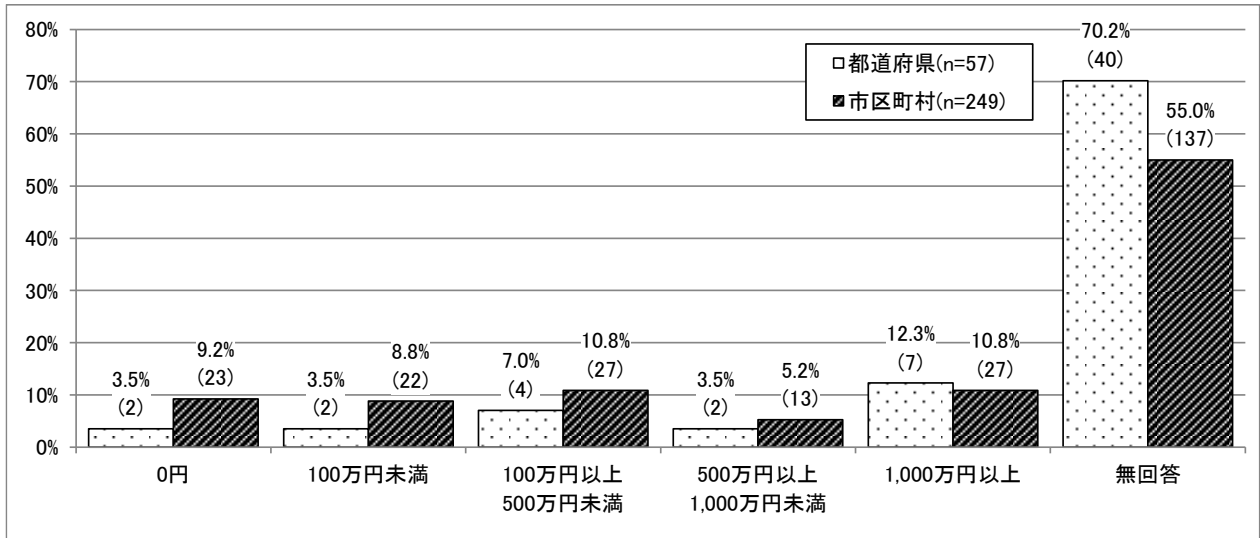


図 5.22 構築時の予算(自館の人件費は含まない)

イ 構築予算の出所

構築予算の出所については、都道府県立図書館では「予算要求を行い新たに予算が付いた」が21件(36.8%)で最も多く、次いで「その他」が17件(29.8%)などとなっている。市区町村立図書館では「補助金」が81件(32.5%)で最も多く、次いで「予算要求を行い新たに予算が付いた」が65件(26.1%)となっている。(図5.23)

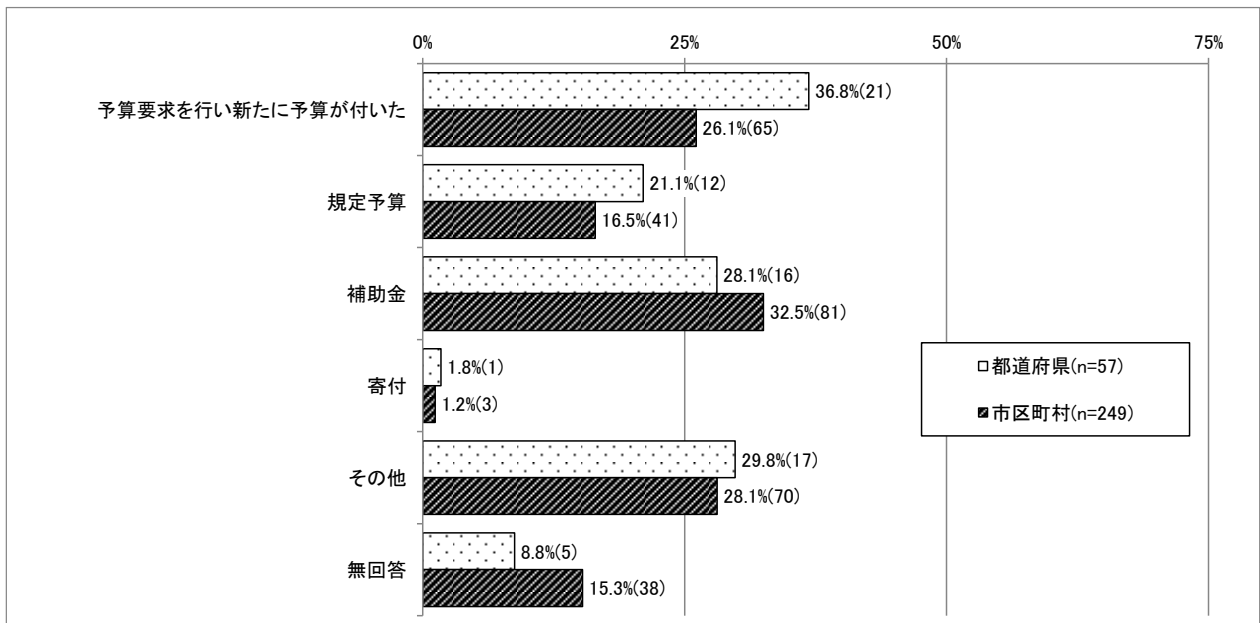


図 5.23 構築予算の出所

(18) 運営予算

ア 年間運営予算(自館の人件費は含まない)

年間運営予算について、都道府県立図書館、市区町村立図書館いずれも無回答を除くと「10万円未満」が最も多く、それぞれ8件(14.0%)、52件(20.9%)となっている。次いで、都道府県立図書館では「400万円以上」が5件(8.8%)となっているが、市区町村立図書館では「10万円以上50万円未満」が45件(18.1%)となっている。(図5.24)

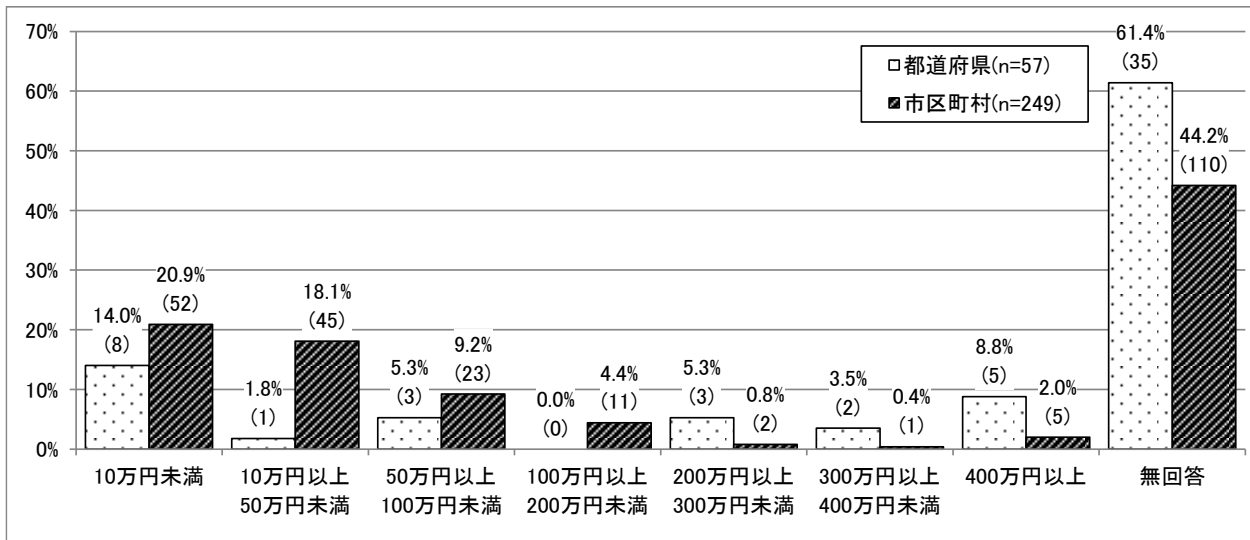


図 5.24 年間運営予算(自館の人件費は含まない)

イ 運営予算の出所

運営予算の出所については、都道府県立図書館、市区町村立図書館ともに「規定予算」が最も多く、それぞれ28件(49.1%)、94件(37.8%)となっている。(図5.25)

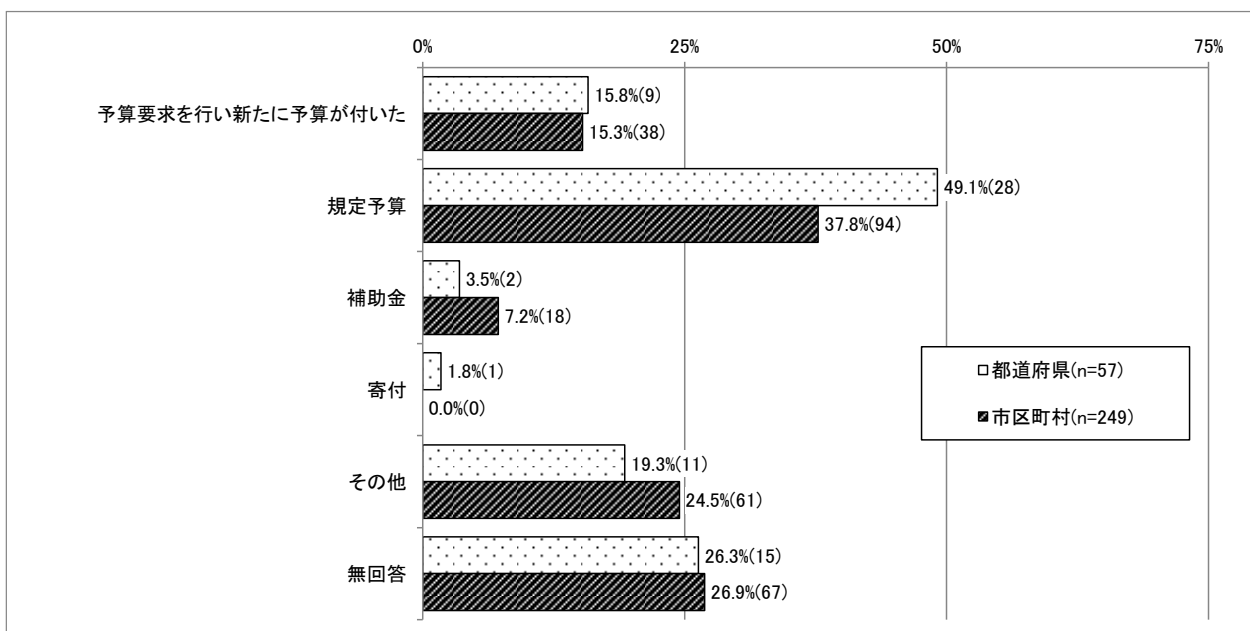


図 5.25 運営予算の出所

(19) 2023年度の延べアクセス数

2023年度の延べアクセス数については、都道府県立図書館、市区町村立図書館いずれも無回答を除くと「10万件以上」が最も多く、それぞれ13件（22.8%）、29件（11.6%）となっている。次いで、都道府県立図書館では「1,000件以上1万件未満」と「1万件以上5万件未満」がいずれも12件（21.1%）となっている。一方、市区町村立図書館では「1,000件以上1万件未満」が24件（9.6%）で2番目に多くなっている。（図5.26）

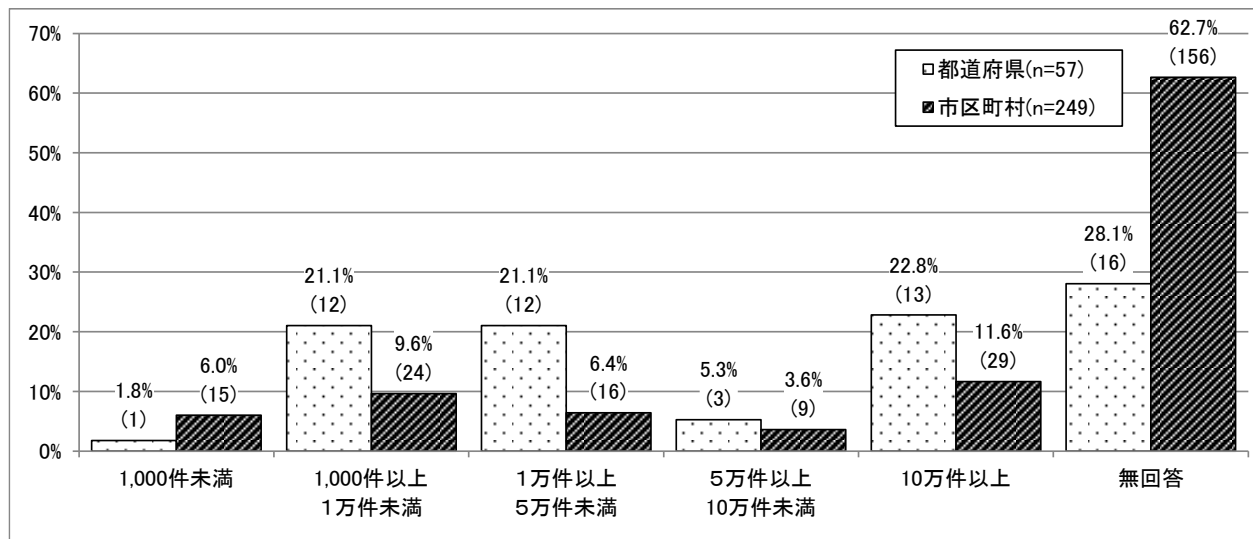


図 5.26 2023年度の延べアクセス数